



おおの 野

ひろし 寛



しんわかい 津和会

### 津市山間地農業施策に 草刈業務の導入検討を

**問** 草刈業務の営農維持施策への導入はできないか。市では道路の草刈業務は、路肩より1～1.5m（積算基礎となるものは確認できない）で、境界までは行われず、地域住民や田の畔の延長として農家が奉仕作業で行っている場所も多い。水田の多面、多機能要素維持が必要な山間地農業維持のため、山間地における市道の草刈業務の農業施策への導入検討をすべきでは。

### 道路管理上、必要な草刈業務に努める

**答** 市が管理する道路の路肩の草刈幅については、県の防草対策に関する資料を参考にしており、道路管理上必要な幅として1～1.5mを基本としている。

道路管理者としては、道路敷全てを除草することが望ましいと考えるが、市が管理する道路は延長が約3,500kmと広範囲であることから、見通しが悪く、通行に著しく支障となる路肩部分を優先的に除草している。

また、草刈業務については、地元自治会や営農組合などに委託しており、今後も道路管理に努めていく。

### ●その他の質疑・質問●

○検討期限が迫る津市公契約条例の現況について

- 津市公契約審議会の現況について
- 労使が納得できる労働報酬下限額の調査、検討状況についてなど



▲農家等の奉仕作業による市道のり面の草刈状況



たなか 中

ひろし 博



いっしんかい 一津会

### 河芸町島崎町線整備事業について

**問** 河芸町島崎町線第3工区の整備は、地域の方々の強い要望もあり、ついに実現されるということで期待している。この路線が計画されたのが昭和48年、この工区が完成すると、国道23号の渋滞解消になり、地域の方々や津市にとっても、その経済効果は計り知れない。

同事業の事業概要とスケジュール、地域への影響と効果についていただきます。

### 県と連携して第3工区 の早期事業化を目指す

**答** 同事業の第3工区は、市道江戸橋一身田線から志登茂川を越えて島崎町までの0.7kmおよび島崎町から県道上浜高茶屋久居線までの0.7kmの計1.4kmで、200mを超える橋の整備が必要である。県において令和4年度に都市計画の変更、事業認可の手続後、街路事業として実施していただくスケジュールである。この事業により、国道23号の渋滞による生活道路への車両流入を抑制する効果のほか、南北の幹線道路増加による産業振興や土地利用の増進など将来的な効果が見込まれることから、今後も県と連携し、早期事業化を目指していく。

### ●その他の質疑・質問●

○コロナ禍における消防行政は

- 救急業務の対応は
- 救急出動の課題について
- 新型コロナウイルス対策は
- 医療体制への支援は
- 職場・職員への対応は
- 幅広い業種への支援は
- 次の一手は
- 一般廃棄物処理施設の老朽化について



▲早期事業化が望まれる河芸町島崎町線第3工区